

- ▶ 森林環境譲与税を財源として、災害の危険がある森林について、侵入竹林等雑木伐採を行った。
- ▶ 令和3年度においては、山鹿地区の0.11haの森林について、集積計画を作成し、業務委託により伐採を行った。
 - ・当該地区は、土砂災害警戒区域に隣接しており、災害が発生し森林が崩壊した場合、村の主要道が塞がれる恐れがあるため、優先的に施業を実施した。
 - ・今後は、複数年にわたり侵入竹林等雑木の除伐を行い、最終的に広葉樹を植栽することにより、災害が発生しにくい森林に導く。
- ▶ 令和4年度においては、村内の災害危険個所について調査を行い、予算の範囲内において侵入竹林等雑木の伐採を行う。

□ 事業内容

○事業の概要

- ・場所 大字山鹿字妙見地区
- ・面積 0.11ha
- ・侵入竹林状況 約20,000本/ha
- ・事業費 470千円（全額譲与税）

○工夫した点

- ・災害発生時にインフラに影響を及ぼす危険がある森林を選定した。
- ・森林所有者と集積計画を作成した。



(施行前)



(施工後)

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	8,227千円
②私有林人工林面積（※1）	2,068.50 ha
③林野率（※2）	69.4%
④人口（※3）	1,424人
⑤林業経営体数（※4）	73経営体

（参考）※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
 ※2,4：「2015農林業センサス」※3：「熊本県推計人口調査」（調査日R1.10.1）